

「すくすく育っています！伊丹市の子どもの学力」

～令和7年度「全国学力・学習状況調査」の伊丹市の結果より～

(本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面です)

全国の平均正答率を100とした場合の伊丹市の平均正答率

小学校	国語	算数	中学校	国語	数学
	103.3(69%)	103.4(60%)		103.1(56%)	107.7(52%)

*カッコ内の数値は伊丹市の平均正答率

小学校・中学校ともに2教科において全国平均を上回っています



R4小学6年生の学力は、R7中学3年生において上昇しています

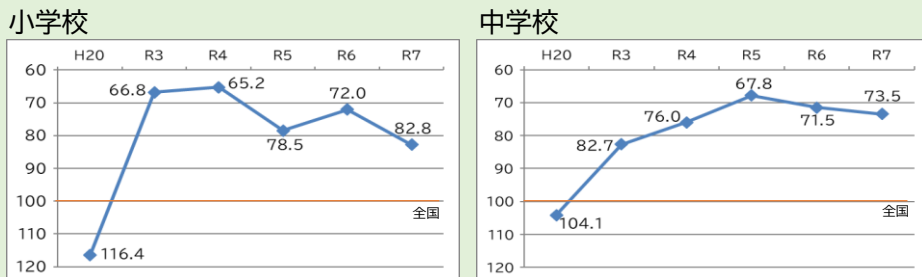
伊丹市の小学校理科の平均正答率と中学校理科のIRTスコアの値

*理科については3年に1度の調査になります。

小学校	理科	中学校	IRTスコア
	56%(57.1%)	理科	506(503)

IRTについてはこちら
(文部科学省資料)

無解答率の経年変化

全国の無解答率を100とした場合の伊丹市の無解答率の推移
(国語と算数・数学の合計) *数値が低いほど、無解答が少ない

小・中学校ともに最後まで書こうとする粘り強さが育っています

今後充実させたい取り組みを具体的な問題(抜粋)から検証

小学校「算数」 「分数を単位分数のいくつ分として捉えること」に課題が見られます

問題3の(3) 【出題の趣旨】

数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつ分として捉えることができるか

単純な計算は
OK!!!!!!
でも、.....この問題の
正答率

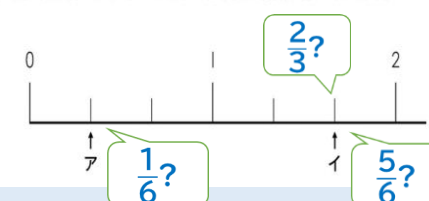
伊丹市	全国
33.8	35.0

正答

ア: $\frac{1}{3}$
イ: $\frac{5}{3}$ or $\frac{2}{3}$

今後

(3) 次の数直線のア、イの目盛りが表す数を分数で書きましょう。

多かつた
間違いア: $\frac{1}{3}$ ○イ: $\frac{2}{3}$ ×

誤答率

5.5%

ア: $\frac{1}{6}$ ×イ: $\frac{5}{6}$ ×

誤答率

5.4%

形式的に分数の計算をできるようにするだけではなく、**分数は「1を等分したうちのいくつ分を表す」という意味を正確に捉え、適切に表現できるような授業の充実を図ります。**

中学校「国語」 「内容がより伝わるように助言すること」に課題が見られます

問題2の四 【出題の趣旨】

資料等を用いて、考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるか

四 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の [] の内容をより分かりやすく伝えるために、(スライド⑤)を工夫したいと考え、あなたに助言を求めています。あなたなら、どのような助言をしますか。あとの【工夫の仕方】のAからCまでの中から1つ選び、条件にしたがって、助言を書きなさい。

【村田さんのスピーチ】
今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思います。【工夫の仕方】
A (スライド⑤)に、言葉を加える。
B (スライド⑤)のイラスト修正したり、イラストを付け加えたりする。
C AとBを組み合わせる。

(スライド⑤)

この問題の
正答率

伊丹市	全国
26.3	23.2

多かつた誤答

条件①～③を満たしているが、条件④を満たしていない

伊丹市	全国
23.3	21.9

相手の考えが伝わりやすくなるように、**目的や条件を基に資料の活用を工夫し、どのように表現すればより伝わるのか**対話的に学が授業の充実を図ります。

【出典】令和7年度 全国学力・学習状況調査※問題は内容がわかる程度に省略しています

調査問題・正答例・解説資料はこちらからご確認ください
(国立教育政策研究所HP)

学習状況調査(主なもの)

*ウェルビーイング
身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
(文部科学省 第4期教育振興基本計画【概要】より)

日々を見直す機会に

(学習状況調査と平均正答率のクロス集計より)

クロス集計は「関係性(※)が見られるかを分析したものであり、因果関係を示したものではありません。
(※ 2つの項目の何らかの関係性のこと)

さらに高めたい
ウェルビーイング*

小…小学校
中…中学校

普通の生活の中で幸せな気持ちになる
小…93.7%
中…90.6%

～15歳

人の役に立つ人間になりたい
小…95.0%
中…96.8%

自分には良いところがある
小…86.2%
中…84.7%

小・中学校の9年間を通して今後も高めていきたい

先生は、よいところを認めてくれる
小…91.1%
中…90.0%

友達関係に満足している
小…90.8%
中…89.7%

人が困っているときは進んで助ける
小…91.5%
中…91.6%

6歳～

これからさらに育てていきたい

主体性

他者とのつながり

教科を好きな気持ち

自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた
小…60.6%
中…56.7%

自分と違う意見について考えるのは楽しい
小…72.5%
中…75.4%



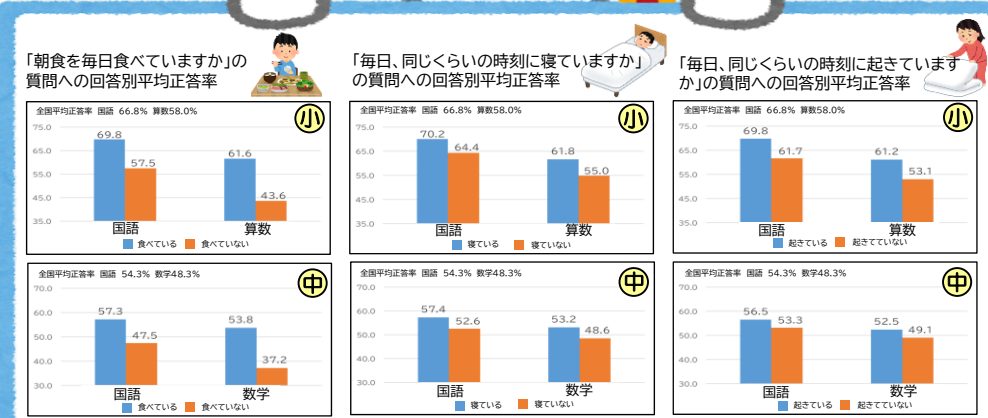
ICEC EK

国語の勉強が好き
小…55.3%
中…53.0%
算数・数学の勉強が好き
小…56.8%
中…55.1%
理科の勉強が好き
小…75.2%
中…57.0%

睡眠を中心とした幼少期からの望ましい生活習慣の確立を!

家庭では

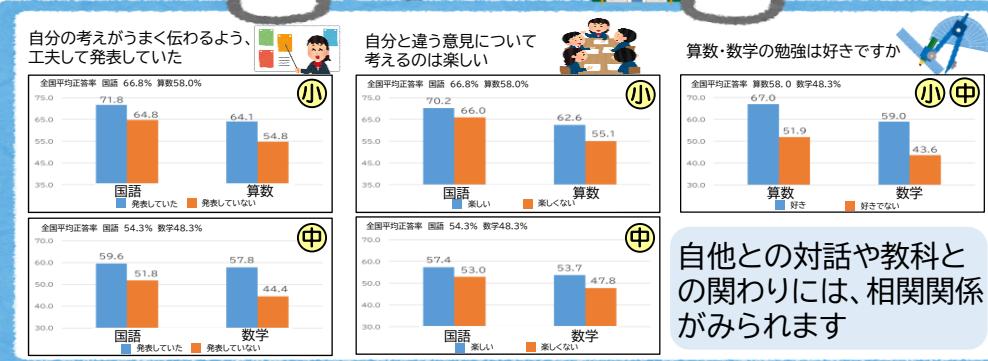
基本的生活習慣と学力には、相関関係がみられます



多様で柔軟な学び方を支援していく「カラフルな教育」の推進を!

学校では

算数・数学の勉強は好きですか



自他との対話や教科との関わりには、相関関係がみられます



本調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校の教育活動の一側面です。一方で、全国で実施されている貴重なデータでもあります。今回の調査結果をもとに、自分たちの学校や市の状況を把握し、検証し、改善に努めていくことが大切です。子どもたちの「最善の利益」のためにも「学力の向上」は重要です。子どもたちの学力向上につながるよう、学校・家庭・地域が協力して支えていきましょう!



これまでの「伊丹市の学力の現状と対策」はこちら